

馬高縄文館  
開館10周年記念  
特別展

# 馬高式土器と その文化



早津剛「長岡市馬高遺跡火焰土器」(部分)

令和元年

7月20日(土)→9月1日(日)

長岡市馬高縄文館  
—火焰土器ミュージアム—

開館時間: 午前9:00～午後5:00(入館は午後4:30まで)

休館日: 8月26日(月)

観覧料: 200円(高校生以下無料・20名以上団体150円)

主催: 長岡市教育委員会

共催: 信濃川火焰街道連携協議会

問合せ: 0258-46-0601

<http://www.museum.city.nagaoka.niigata.jp/umataka/>



信濃川以遠街道



# 馬高式土器とその文化



馬高遺跡出土の馬高式土器(国指定重要文化財)

縄文時代中期中ごろ、信濃川流域に華開いた火炎土器は、最初に発見された馬高遺跡の名称をとって「馬高式土器」とも呼ばれてきました。馬高式土器は特徴的な火焰型・王冠型土器のほか、塔ヶ崎式といわれてきた東北系統の一群を伴い、やがて在地色の濃い栃倉式土器に変遷していきました。本展では、これまでの研究史や近年の調査資料などから、馬高式土器の様相や文化をさぐってみます。

## 展示予定資料の出土遺跡

前田遺跡(村上市) 吉野屋遺跡(三条市)  
野首遺跡(十日町市) 諏訪前遺跡(津南町)  
長瀬新田遺跡(長野県下水内群栄村)  
馬高遺跡・岩野原遺跡・栃倉遺跡(長岡市)ほか

## 《同時開催》

## 山口三輪作品展「かぎ針編みの縄文土器」

\*7月20日(土)午後1時30分～作家による作品解説あり\*

## 関連講座

### 「馬高式土器をさぐる」

日時 8月10日(土) 午後1:30～3:30  
講師 小熊博史(当館館長)  
会場 馬高縄文館学習室  
定員 50名  
参加料 無料(参加者は展示室を無料で観覧できます)  
申込み 7月10日(水)から 馬高縄文館(TEL 0258-46-0601)へ



山口三輪(やまぐち・みわ) 幼い頃より母親の影響で手芸に親しむ。なかでも一本の糸から形づくる編み物に惹かれ独学で制作を続け、2009年より編み物オブジェ作家として活動を開始する。作品は主に生成り色の糸を使い、かぎ針編みで制作。近年は詩人であった父・山口哲夫の故郷、新潟県より出土した火焰型土器など縄文土器の造形と紋様に惹かれ、制作に取り入れている。



## 交通のご案内

- JR 長岡駅大手口5番線長岡＝柏崎線バスで関原南下車
- 関越自動車道・北陸自動車道長岡I.C から車で約3分

7月27日～8月25日 チケット割引連携 新潟県立歴史博物館と馬高縄文館のチケット半券で相互の観覧料が割引に!

詳細は馬高縄文館HP<<http://www.museum.city.nagaoka.niigata.jp/umataka/>>をご覧ください